

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～25℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週の71%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年並み）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり15kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり16kgの水揚げで、前週の26%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり50kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり321kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり182kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり181kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり380kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり752kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週の78%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/10～6/14の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、北太平洋のアカイカ漁操業、及び日本海スルメイカ出漁。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～秋田沖で操業。鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計18箱、1航海最高18箱、平均18箱。スルメイカ（20～40入）12箱、ケンサキイカ（2～4立）6箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>